

学びの足あと

○総合「笑顔で共に遊ボッチャ」

総合的な学習の時間では「笑顔で共に遊ボッチャ」という単元に取り組み、パラスポーツであるボッチャを楽しんでいます。

どんなスポーツか簡単に説明しますとジャックボールと言われる的になるボールをまず投げ、そのボールに近づくように赤と青の2色に分かれ、各チーム6球のボールを投げます。一番ジャックボールに近いボールが赤チームだった場合は、青チームが投げます。青チームが投げても、まだ赤チームの方がジャックボールに近い場合は青チームが投げます・・・と言ったようにゲームが展開され、最終的にジャックボールの一番近くに投げられたチームが勝ちになるスポーツです。氷上で行うカーリングにどこか似ています。魅力の一つに的であるジャックボールが、ボールなので当たると動いてしまい、大逆転が可能になるというところがあります。

11月13日(金)にNECボッチャ部の皆さんをゲストティーチャーとしてお招きし、ボッチャの魅力を伝えていただきました。そこで学んだこと、ボッチャのよさ、おもしろさをクラスごとに整理しました。

- 誰にでもできてやればとにかく楽しい、嬉しいといった感情が生まれる
- 最後まで勝敗が分からなくておもしろい、ハラハラドキドキする
- チームワークが重要
- 誰でもできる、楽しめることができる
- コートが引いてあればボールがあればできるので準備が簡単
- 友達がすぐできる、仲よくなれる
- 頭も使う
- 最後の一球で大逆転できる
- 協力し合い、助け合えば楽しさがさらに増えるスポーツ
- 人と人とをつなぎ合わせる素敵なスポーツ

といったスポーツであると子どもたちから挙がりました。

それからはボッチャをやってみよう、楽しもうとボッチャをプレイする学習にうつっているわけですが、子どもたちから出た振り返りや担任が見ていて気付いたことを毎回ボッチャをする前にクラス全体で共有し、その時間にはどんなことを目標にしてボッチャをしていくのか確認する時間を設けています。

各クラス全体で共有して目標にした例をいくつか紹介します。

- 作戦を立てているチームがあった→素晴らしいのでまねしてみよう
- 失敗しても「大丈夫だよ」とか励まし合っているチームがあった→元気が出るから自分たちでもやってみよう。
- 負け残りにして負けたチームが次のチームと対戦するようにすると次もやりたいたからわざと負けているチームがあった→勝ち残りするようにしよう。わざと負ける相手と戦ってもスポーツはおもしろくない。スポーツマンシップとは何なのか考えてみよう。
- 道具を大事に使っていない人がいた→この道具は昨年4年生がボッチャの道具がないから工夫して作るなど試行錯誤してボッチャをしていた姿を見て、学校で買ってもらった大事な道具。大切に使おう。仲間も大事に、道具も大事に。
- どこまで試合中喜んでいいのだろう。相手に失礼なリアクションをとらない方がいいと思うのだけれど・・・→拍手や相手を気遣った言い方を考え、行動することがとても大事なのではないかな。試合が終わってから喜ぶのならいいのではないかな。
- 試合をしていてルールがわからないところがあった→調べてみよう。
- みんなが仲よくなるためには・・・→言葉の選び方が大切。嬉しくなる言葉を伝えたい。

休み時間にボッチャの道具を借りて楽しんでいる子どもも見られるようになりました。実際に担任も挑戦状をたたきつけられ、試合を試してみたのですが、最後までどちらが勝つかわからないので思わず大きな声を出し楽しんでしまいました。

同じフロアで学習している3年生が興味をもって遊んでいるところに来てくれたので一緒にボッチャを楽しみました。優しく声をかけ、ルールを丁寧に教えるなど高学年らしい態度が見える場面がありました。

ボッチャを通して「いろいろな人とこれまで以上にによりよく関われることに気付き、相手の立場に立ってどうすればさらによりよく過ごせるようになるか考えること」をねらいとして学習しています。これから仲間と共に楽しい学校生活を送るために大切なことをボッチャから学び、活かしてもらえたらと思っています。